

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H21実績	H22実績	H23実績	H24計画
① 文化財保存管理業務	除草、清掃、見廻り等の管理	業務委託数	団体	15	15	15	15
② 文化財周辺整備事業	説明板、誘導標識の設置	設置箇所数	箇所	11	10	3	3
③ 文化財公開業務	国指定文化財等の公開	一般公開の日数	日	2	2	3	3
④ 文化財保護審議会業務	会議及び現地調査の開催	開催数	回	5	4	3	3
⑤ 文化財指定業務	調査し、保護審議会及び教育委員会に諮問	指定・登録件数	件	13	7	2	2

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H21目標	H22目標	H23目標	H24目標
			H21実績	H22実績	H23実績	H24実績
1 文化財見学者数	一般公開時に国指定の装飾古墳を見学された人数	人	500	500	500	500
			461	258	668	
2 文化財市指定・登録数	指定・登録して保存整備の対象となった文化財の累計数	件	111	119	121	122
			111	118	121	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性	実施主体の妥当性【20】 市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体で実施できないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	文化財保護法を代表とする諸法規に定められた市町村の事務である。個人所有の文化財は良好な保存状態を維持するため適切な対応を要する。
	目的の妥当性【21】 税金を使って達成する目的か。また、役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】 事業を止めた場合、市民の生命、財産、権利等が脅かされる恐れがあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性	目標の達成度【23】 成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	観光資源として活用するため、文化財の周辺を整備し、見学者に対しての便宜を図る必要がある。周辺整備が進められず、活用が十分なされていないといえない。
	成果向上の余地【24】 成果がもっと上がる余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】 上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input type="checkbox"/> 十分 <input checked="" type="checkbox"/> 不十分	
効率性	コスト低減の余地【26】 コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	文化財の保護・管理にかかるコスト削減は困難。
	民間の活用の余地【27】 民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】 事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】 類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】 受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	・考古学ファンだけでなく観光客に対しても、古の玉名を知ることができる文化財を直に見学してもらい、「古が響く街玉名」を広く紹介する。 ・核となる文化財とその周辺整備を検討し、地域住民や観光客に親しまれる良好な環境を創造する。 <input type="checkbox"/>
昨年からの見直し・改善状況【32】	JRウォーキング等のイベントに装飾古墳公開を掲載し、多数の見学者が訪れた。今後も、文化財周知のため機会を見つけて公開していく。

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H21実績	H22実績	H23実績	H24計画
① 市内遺跡試掘確認調査事業	埋蔵文化財包蔵地内で開発行為届出受付	届出受付件数	件	116	87	94	90
②							
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H21目標	H22目標	H23目標	H24目標
			H21実績	H22実績	H23実績	H24実績
1 市内遺跡試掘件数	開発予定地の開発行為届出に関して、試掘調査を行った件数	件	30	20	20	20
			15	11	14	
2 発掘調査件数	試掘調査を基に本調査を行った件数	件	3	3	2	2
			0	0	0	

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体で実施できないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	文化財保護法を代表とする諸法規に定められた市町村の事務である。住宅建築の際は、建築主に試掘調査費用の負担を求めている。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、市民の生命、財産、権利等が脅かされる恐れがあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	埋蔵文化財に影響を及ぼすとみられる開発行為については、試掘・確認調査を実施した。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	文化財保護法を代表とする諸法規に定められた市町村の事務であり、試掘調査基準に則って行っている。
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	埋蔵文化財の保護という観点から、遺跡地図の埋蔵文化財包蔵地内で開発行為が行われる場合は、事前の調査を実施し埋蔵文化財に影響がないよう開発行為者と協議・調整する。やむを得ず開発行為により埋蔵文化財に影響を及ぼす場合は、開発行為着手を止めて本調査を実施し記録保存する。今後もこれまでと同様に調査を行う。
昨年からの見直し・改善状況【32】	

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H21実績	H22実績	H23実績	H24計画
① 岱明玉名線文化財発掘調査事業	埋蔵文化財発掘調査	調査面積(累計)	m ²	***	8,500	10,500	14,000
②							
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H21目標	H22目標	H23目標	H24目標
			H21実績	H22実績	H23実績	H24実績
1 岱明玉名線文化財発掘調査進捗率	発掘調査を実施した面積/発掘調査計画面積	%	***	50	80	80
			***	38	60	
2						

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性	実施主体の妥当性【20】 市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体で実施できないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	新庁舎、市道拡幅などの市の事業に伴う発掘調査があるため、岱明玉名線文化財発掘調査について、23年度調査区線越分を一部民間委託していく。発掘調査の遅れは、市道工事に影響し、供用開始時期を遅らせることになる。
	目的の妥当性【21】 税金を使って達成する目的か。また、役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】 事業を止めた場合、市民の生命、財産、権利等が脅かされる恐れがあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性	目標の達成度【23】 成果指標の目標値は達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	悪天候の影響を受けたり、遺構が多く存在したため、予定よりも調査に時間を費やしてしまった。
	成果向上の余地【24】 成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】 上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性	コスト低減の余地【26】 コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	市道工事の日程を考慮し、期限内に発掘調査を完了できるように、発掘調査から整理作業にかけての一連の作業効率を上げる必要がある。そのため、民間委託を必要に応じて導入していく。
	民間の活用の余地【27】 民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】 事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】 類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】 受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	岱明玉名線文化財発掘調査のほかに、新庁舎建設地や市道拡幅に係る埋蔵文化財発掘調査があり、直営では発掘調査に従事できる職員数に限りがあるため、民間委託を導入して発掘調査を進め、市道岱明玉名線工事スケジュールに差障りが生じないようにする。
昨年からの見直し・改善状況【32】	23年度繰越予算で発掘調査業務を民間業者に委託して実施中。

事務事業事後評価表

確認済

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	文化振興事業		担当課 【2】	文化課	
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり			基幹プロジェクト【4】
	主要施策(節)	(4)文化・芸術の振興			
	施策区分	(2)文化交流活動の推進			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input checked="" type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 <input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 <input type="checkbox"/> その他の計画【]		年度予定	金額	千円】
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務				
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【]		款	10	項 5 目 8 細目 2

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	文化活動推進の市民連携組織である文化協会においては会員確保をはじめとした機能強化が求められる。また伝統文化団体においては、補助金等の財政支援により団体の機能強化が求められる。
対象(誰、何に対して) 【9】	文化的事業及び文化団体
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	文化的事業及び文化団体の活性化をはかる

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【]
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【]
事務事業の具体的内容 【14】	市民文化団体である文化協会運営への支援協力を実施しながら文化協会活動の充実を図る。特に主要事業である市民文化祭においては、共催の関係上、市が会場借上げを負担している。また大野下奴踊り等その他伝統芸能団体活動に対する補助金支援を実施している。
	事務事業を構成する細事業 【15】 ① 文化振興事業 ② ③ ④ ⑤

《事務事業実施に係るコスト》

		H21年度決算	H22年度決算	H23年度決算	H24年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費(千円) 【16】	国庫支出金					
		県支出金					
		起債					
		受益者負担					
		その他	115	113	45	44	
		一般財源	3,245	3,359	3,219	2,616	
	小計	3,360	3,472	3,264	2,660	0	
	人件費 【17】	職員人工数		0.70	0.70	0.70	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,811	5,691	5,691	5,691	
		臨時・非常勤職員人件費(千円)					
小計	0	3,984	3,984	3,984			
合計		3,360	7,456	7,248	6,644		

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H21実績	H22実績	H23実績	H24計画
① 文化振興事業	補助金を交付して文化的事業及び文化団体の活性化を図る	補助金交付団体数	団体	4	4	4	5
②							
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H21目標	H22目標	H23目標	H24目標
			H21実績	H22実績	H23実績	H24実績
1 文化協会所属会員数	4月現在の会員数を抽出	人	1,800	1,750	1,750	1,500
			1,800	1,750	1,712	
2 市民文化祭観覧者数	展示の観覧者数	人			1,226	1,300
					1,226	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性	実施主体の妥当性【20】 市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体で実施できないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	民間主導で実施中であるが、税金を使って達成しなければ、文化振興への市民参画を損なう恐れがある。
	目的の妥当性【21】 税金を使って達成する目的か。また、役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】 事業を止めた場合、市民の生命、財産、権利等が脅かされる恐れがあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性	目標の達成度【23】 成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	従来どおり活発に活発に機能している。また、チェンジ玉名、芸能文化都市構築に貢献している。
	成果向上の余地【24】 成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】 上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性	コスト低減の余地【26】 コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	民間主導で実施済みのため補助金は必要であり、現行借上料も補助金に含むことは出来るのではないかと。また、事務事業は統合できるところは現在存在しない。
	民間の活用の余地【27】 民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】 事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】 類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】 受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	公共性があるなかで受益者負担は共用できない。

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	文化振興団体については、平成20年度の玉名市補助金検討プロジェクト検討結果を踏まえて金額調整を行っておりこれまで以上の見直しには限界があるものと思われる。
昨年からの見直し・改善状況【32】	文化協会においては、機能性を高めるため従来の1市3町からなる支部制廃止を行い平成24年度から実施する。動きやすい組織を構築することで会員増強を図る。

事務事業事後評価表

確認済

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	音楽の都づくり事業		担当課 【2】	文化課							
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり			基幹プロジェクト【4】						
	主要施策(節)	(6)「音楽の都 玉名」づくり									
	施策区分	(1)「音楽の都 玉名」づくりの推進			③						
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 <input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 <input type="checkbox"/> その他の計画【		年度予定	金額	千円】						
事業区分 【6】	<input checked="" type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input type="checkbox"/> 施設の維持管理事業 <input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務										
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】	款	10	項	5	目	8	細目	3

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	玉名女子高校と専修大学玉名高校の吹奏楽部が全国トップレベルに成長し、「玉名の音楽は盛んなのだ」という意識がより一層高まったが一定の成果を得てきたものの、「音楽の都イコール玉名」としては市外に浸透していないため、玉名市を「音楽の都」として成長させる必要がある。
対象(誰、何に対して) 【9】	市民・他市町村民及び芸術文化団体・音楽関係者
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	豊富で貴重な音楽資源を有効に活用し、魅力ある音楽活動を展開することで、市民に音楽文化の素晴らしさと、すべての人々が音楽をとうして感動できる音楽都市を目指す。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 年度】 【 17 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【
事務事業の具体的内容 【14】	文化協会等団体運営への支援協力を実施しながら音楽活動の充実を図る。玉名女子高校、専修大学玉名高校によるスクールコンサート・街中コンサート等を充実、市内21小学校へ出前コンサート(アウトリーチ)実施など芸術文化の向上を図る。
	事務事業を構成する細事業 【15】 ① 音楽推進事業 ② 人材育成事業 ③ ④ ⑤

《事務事業実施に係るコスト》

		H21年度決算	H22年度決算	H23年度決算	H24年度予算	全体計画	
投入コスト	事業費(千円) 【16】	国庫支出金					
		県支出金					
		起債					
		受益者負担					
		その他					
		一般財源		1,900	2,485	3,299	
	小計	0	1,900	2,485	3,299	0	
	人件費 【17】	職員人工数		1.30	1.30	1.30	
		職員の年間平均給与額(千円)	5,811	5,691	5,691	5,691	
		臨時・非常勤職員人件費(千円)					
小計	0	7,398	7,398	7,398			
合計	0	9,298	9,883	10,697			

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H21実績	H22実績	H23実績	H24計画
① 音楽推進事業	会場の充実及び出演団体等の活性化を図る。	コンサート開催回数	回		1	12	23
② 人材育成事業	出前コンサートにより音楽体験をさせる。	アウトリーチ開催回数	回		0	11	21
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)		計算方法又は説明	単位	H21目標 H21実績	H22目標 H22実績	H23目標 H23実績	H24目標
1	音楽イベント来客数	スクールコンサート・出前コンサート等合計来客数	人		0	850	2,000
					0	2,650	
2	市民音楽祭入場者数	入場者数	人		850	850	800
					850	850	

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体で実施できないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	現行市と民間で行っているが、会場の充実及び出演単体の団体等の活性化のため事業費は必要であり、廃止等の場合市民参画の機会を損なう恐れがある。
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、市民の生命、財産、権利等が脅かされる恐れがあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	市民音楽祭の充実、人材育成でアウトリーチ事業の強化の準備中であり芸術文化都市構築に貢献している。
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	民間主導で実施のため事業費として現行が妥当であるが、市内イベントなどで音楽を提供する機会を増やすことも必要。
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	公共性があるなかで受益者負担はなじまない。

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input checked="" type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	市民音楽祭の充実、アウトリーチの充実、及び音楽の情報発信の強化を図る。また、民間主導による活動ができる環境を整える。
昨年からの見直し・改善状況【32】	スクールバンドを企画開催及びアウトリーチ小学校21校対象など人材育成、また新にプロジェクトチーム会議により本事業の推進強化を図った。

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H21実績	H22実績	H23実績	H24計画
① 音楽マスコット管理事業	マスコット及び着ぐるみの使用及び貸出申請の審査件数	使用申請審査件数	回			54	70
②							
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H21目標	H22目標	H23目標	H24目標
			H21実績	H22実績	H23実績	H24実績
1 着ぐるみ使用許可件数	着ぐるみ利用数	件			38	50
2 マスコット使用許可件数	マスコット使用数	件			16	20

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性	実施主体の妥当性【20】 市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体で実施できないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	市のマスコットであるため、問題ないが、廃止・休止の影響は、商標登録が守られず乱用及びPR等が損なわれる恐れがある。
	目的の妥当性【21】 税金を使って達成する目的か。また、役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】 事業を止めた場合、市民の生命、財産、権利等が脅かされる恐れがあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性	目標の達成度【23】 成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	利活用は増加しているが、現行の要綱等では利活用に限界があり、要綱等の改正により、利活用の用途を広める必要がある。
	成果向上の余地【24】 成果がもっと上がる余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】 上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性	コスト低減の余地【26】 コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	市のマスコットであるため検討等は難しいと思われる。着ぐるみの頭の大きさに伴う視野の狭さ、手の動き、着用したときの暑さなどの改良希望。
	民間の活用の余地【27】 民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】 事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】 類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】 受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	公共性があるなかで受益者負担は強要できない。

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	着ぐるみ使用、マスコット利用については今の要綱では限界があり、PRも広く利用できないものであり、要綱の改正をする。3体目を作成し機能を充実させたい。また、タマにゃんのサイト作成を検討。
昨年からの見直し・改善状況【32】	2体目の着ぐるみを作成の際、軽量化・着用時に着用しやすいように改良。

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H21実績	H22実績	H23実績	H24計画
① 運営(窓口)業務	開館して受付業務を行う	開館日数	日		304	299	306
② 博物館建物管理業務	業務委託による維持管理を行う	委託件数	件		8	7	7
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H21目標	H22目標	H23目標	H24目標
			H21実績	H22実績	H23実績	
1 博物館観覧料	観覧料の合計	千円		606	599	
2 博物館使用料	館内レクチャーホールの使用料	千円		478	436	
				45	45	45
				0	0	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性	実施主体の妥当性【20】 市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体で実施できないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	【22】 歴史文化の振興が出来なくなる。
	目的の妥当性【21】 税金を使って達成する目的か。また、役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】 事業を止めた場合、市民の生命、財産、権利等が脅かされる恐れがあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性	目標の達成度【23】 成果指標の目標値は達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	【23】 博物館の認知度が低い。 市民のニーズと合っていない。 【24】 博物館の認知度を上げる。 (HPなどの充実)
	成果向上の余地【24】 成果がもっと上がる余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】 上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性	コスト低減の余地【26】 コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】 民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】 事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】 類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】 受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input checked="" type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	判断理由: 観覧料は目標達成していないが、博物館の目的は観覧料の徴収だけではない。 歴史文化の伝承情報の発信等のため、事業の継続は必要である。 改善内容: 博物館事業を充実させる。
昨年からの見直し・改善状況【32】	企画展事業、催物事業、体験学習事業ともに、昨年よりも多く行う予定である。 身近な博物館として認知されるよう事業を行っている。

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H21実績	H22実績	H23実績	H24計画
① 企画展事業	収蔵品や収集又は借用した資料等の展示会の開催	展示会開催回数	回		4	5	5
② 催物事業	収蔵及び作品券集した資料等の展示、コンサート等の開催	催物開催回数	回		9	15	23
③ 体験学習事業	体験学習会等の開催	体験学習会開催回数	回		20	25	31
④ 広報・集客業務	市広報紙やHPへの掲載等により周知や集客	市広報・HP掲載回数	回		24	24	24
⑤ 出前講演講座事業	依頼団体への出前講座	出前講演回数	回		6	3	3

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H21目標	H22目標	H23目標	H24目標
			H21実績	H22実績	H23実績	
1 博物館来館者数	博物館に入館した延べ人数	人		10,000	13,000	13,000
				9,199	9,452	
2						

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性	実施主体の妥当性【20】 市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体で実施できないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	廃止、休止の影響【22】 歴史文化の振興が出来なくなる
	目的の妥当性【21】 税金を使って達成する目的か。また、役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】 事業を止めた場合、市民の生命、財産、権利等が脅かされる恐れがあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性	目標の達成度【23】 成果指標の目標値は達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input checked="" type="checkbox"/> 未達成	目標の達成度【23】 市民にニーズを把握する。 成果向上の余地【24】 歴史文化だけでなく、市民のニーズを把握する
	成果向上の余地【24】 成果がもっと上がる余地はないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】 上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性	コスト低減の余地【26】 コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	執行方法海瀬員の余地【28】 チラシ等の周知先を広げる。 HP、メディアを積極的に活用する。
	民間の活用の余地【27】 民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】 事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input checked="" type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】 類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】 受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input checked="" type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	各事業のPR方法の手段を増やしたい。HPの充実を図る。
昨年からの見直し・改善状況【32】	企画展事業、催物事業、体験学習事業ともに、昨年よりも多行う予定である。身近な博物館として認知されるよう事業を行っている。

事務事業事後評価表

確認済

《基本情報》

事務事業の名称 【1】	博物館改修事業		担当課 【2】	文化課(博物館)	
総合計画での位置付け 【3】	基本目標(章)	③人をはぐくむまちづくり			基幹プロジェクト【4】
	主要施策(節)	(4)文化・芸術の振興			
	施策区分	(1)歴史・文化施設の充実			
実施の根拠 (複数回答可) 【5】	<input type="checkbox"/> 市長公約 <input type="checkbox"/> 新市建設計画【 <input type="checkbox"/> 法令、県・市条例等【 <input type="checkbox"/> その他の計画【		年度予定	金額	千円】
事業区分 【6】	<input type="checkbox"/> ソフト事業 <input type="checkbox"/> 義務的事業 <input type="checkbox"/> 建設・整備事業 <input checked="" type="checkbox"/> 施設の維持管理事業				
	<input type="checkbox"/> 内部管理事務 <input type="checkbox"/> 計画等の策定事務				
会計区分 【7】	<input checked="" type="checkbox"/> 一般会計 <input type="checkbox"/> 特別・企業会計【		】	款	10 項 5 目 6 細目 -

《事務事業の目的》

事務事業の実施背景(どのような問題又はニーズがあるのか) 【8】	博物館の展示室は、デットスペースが多い。常設展示のスペースにおいては、シンボルオブジェが固定されており、展示方法に制限がある。新玉名駅開業により多くの来玉者誘致のためにも魅力ある博物館として展示品の拡充は必須であり、新たな展示スペースを創り出す必要がある。
対象(誰、何に対して) 【9】	博物館
意図(どのような状態にしたいのか) 【10】	既存のスペースを有効活用し易く且つ安全面にも考慮した状態に改修する。

《事務事業の概要》

事業期間 【11】	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返し <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【 23 年度】 【 年度から】 【 年度～ 年度まで】
事業主体 【12】	<input type="checkbox"/> 国 <input type="checkbox"/> 県 <input checked="" type="checkbox"/> 市 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> その他【
実施方法 【13】	<input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 補助金等交付 <input type="checkbox"/> その他【
事務事業の具体的内容 【14】	・館内改修工事 展示室内のシンボル展示部にスラブを設置、下部を倉庫に改修。外部に障害者案内用設備設置。 ・電気、案内板、スロープ、防犯カメラ等の修繕
	事務事業を構成する細事業 【15】 ① (光)博物館改修事業(繰) ② ③ ④ ⑤

《事務事業実施に係るコスト》

		H21年度決算	H22年度決算	H23年度決算	H24年度予算	全体計画
投入コスト	事業費(千円) 【16】	国庫支出金				
		県支出金				
		起債				
		受益者負担				
		その他				
		一般財源			20,573	
	小計	0	0	20,573	0	20,573
人件費 【17】	職員人工数			0.20		
	職員の年間平均給与額(千円)	5,811	5,691	5,691	5,691	
	臨時・非常勤職員人件費(千円)			258		
小計	0	0	1,396	0		
合計		0	0	21,969	0	

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H21実績	H22実績	H23実績	H24計画
① (光)博物館改修事業(線)	展示スペースを有効活用する	改修設備数	箇所			1	
②							
③							
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H21目標	H22目標	H23目標	H24目標
			H21実績	H22実績	H23実績	H24実績
1 増設した床面の面積	展示スペースの増設した面積	m ²			59.16	
					59.16	
2						

《事務事業の評価》

評価項目		評価の視点	評価	評価の説明
妥当性	実施主体の妥当性【20】	市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体で実施できないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし	
	目的の妥当性【21】	税金を使って達成する目的か。また、役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】	事業を止めた場合、市民の生命、財産、権利等が脅かされる恐れがあるか。	<input type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性	目標の達成度【23】	成果指標の目標値は達成できたか。	<input type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地【24】	成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】	上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性	コスト低減の余地【26】	コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】	民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】	事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】	類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】	受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	H23年度をもって事業終了
昨年からの見直し・改善状況【32】	

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H21実績	H22実績	H23実績	H24計画
① 収蔵品等管理業務	修繕、燻蒸等の委託を行い劣化を防ぐ	劣化防止及び修復件数	件		1	2	0
② (光)マイクロフィルム電子化事業(繰)	古文書等資料をデジタル化する	デジタル化のコマ数	コマ		0	40,000	0
③ 収蔵品寄贈・寄託手続業務	寄贈、寄託の手続を行う	手続き件数	件		10	13	11
④							
⑤							

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H21目標	H22目標	H23目標	H24目標
			H21実績	H22実績	H23実績	H24実績
1 収蔵品数	収蔵品数	点		30,000	30,000	30,000
2 目録化率	収蔵品の目録化率	%		60	90	92

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性	実施主体の妥当性【20】 市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体で実施できないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	【22】 歴史文化の振興が出来なくなる。
	目的の妥当性【21】 税金を使って達成する目的か。また、役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input checked="" type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】 事業を止めた場合、市民の生命、財産、権利等が脅かされる恐れがあるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性	目標の達成度【23】 成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地【24】 成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】 上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性	コスト低減の余地【26】 コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】 民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】 事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】 類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】 受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	収蔵品の管理は博物館の業務の1つである。現状のまま継続するのが妥当である。 今後は職員(学芸員)の虫菌害対策の知識を深め、現在より良い状態で保存したいと思っている。
昨年からの見直し・改善状況【32】	職員(学芸員)の虫菌害対策のスキルアップのため、研修会に参加する。